

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 全国学力学習状況調査において、本校児童の平均正答率は、大阪市をおよそ 15 ポイント下回っている。また、小学校学力経年調査の正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合は 30～40% であり、下位層が多い。これまで、児童の表現する力がつくよう意識して授業を工夫してきた。また、よくわかる授業を目指して ICT を活用してきた。学力向上支援事業を活用して外部講師を招聘し、授業づくりを進めてきた。しかし、依然として学力が本校の大きな課題となっている。
- 家庭的にも不安定な家庭が多い。愛着障がいと思われる児童、虐待等が疑われる児童が少なくない。ささいなことから気持ちの折り合いがつけられず、教室を飛び出したり、他の児童とトラブルになったりしている。そのため教職員が児童に寄り添い、指導を行っている。
- 不登校児童が多いことも課題である。担任が丁寧に家庭へ連絡している。解消に向け関係機関と連携しているが、しない現状がある。また、学校の授業以外に全く勉強をしていない児童の割合が高い。約 27% に達し、全国平均の 5 倍である。そのため、放課後学習や週末スタディの取り組みを行っている。
- 教職員全体で児童にかかわり、児童が頑張っていることやできていることを褒めている。また、一人一人が活躍できる場を設定している。その成果もあり小学校学力経年調査の「自分には、よいところがあると思いますか」の質問項目で、肯定的回答の割合が高まっている。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を、毎年、増加させる。

R5 12.5% R6 14.3%

- 令和7年度の全国学力学習状況調査の「人の役に立つ人間になりたいですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、80%以上にする。

R5 89.2% R6 96.2%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の全国学力学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について肯定的に答える児童の割合を令和3年度より5%増加させる。

R3 58.8 R5 61.6 R6 84.6

- 令和7年度の小学校学力経年調査の平均正答率7割以下の児童を、いずれの学年も令和3年度より1ポイント減少させる。

総合正答率合計 大阪市平均の7割以下の児童の割合

(R3→R6) 6年41.0→34.0 5年33.3→33.8 4年35.8→27.9 3年32.1→42.1

全教科の平均正答率が 7割以下の児童の割合

(R3→R6) 6年76.9→75.9 5年81.6→78.9 4年80.0→75.6 3年73.7→77.2

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度経年調査の「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。 R4 6年生70.8 R5 6年生56.1 R6 6年生78.8

- 令和7年度 児童質問「授業の中で学習者用端末を活用し学習している」の項目について高学年は「週 1 回以上」と答える児童の割合を90%以上にする。

(参考) 6年生 (全国学テ) R4 39.6 R6 52.0

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

R5 78.5% R6 81.5%

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

R5 73.0% R6 74.8%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を35%以上にする。

R4 32.0 R5 39.9 R6 33.9

○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

平均正答率 対市比

R5 5年79.4 4年76.1 3年70.9

R6 6年77.3 5年80.0 4年81.8 (3年71.0)

○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を78%以上にする。

R5 69.5 R6 87.8

【学びを支える教育環境の充実】

ICTの活用に関する目標

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。

(教育委員会事務局が定める学校行事等ICT 活用が適さない日数を除く)

R6 0% (参考)R6 12 月の平均活用率 55.2%

教職員の働き方改革に関する目標

○年次有給休暇を10 日以上取得する教職員の割合を95%以上にする。

R6 96.7%

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立長吉東小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80 %以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75 %以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向①、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>学年の実態に合わせた、自尊感情を高める取り組みを行う。 ()</p>	
<p>指標 児童ががんばっていることやできていることなどを認め合う場、一人一人が活躍できる場を設定する。</p>	
<p>取組内容② 【基本的な方向②、豊かな心の育成】</p> <p>違いを認め合う集団の育成を行う。 ()</p>	
<p>指標 車いす体験・盲導犬体験・アイマスク体験・発達障がいについての学習など、障がいについて学ぶ体験活動を全学年で実施する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
後期への改善点

(様式 2)

大阪市立長吉東小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 35 %以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 78 %以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>児童の読み取る力を高める授業を創造する。 ()</p>	
<p>指標 児童の読み取る力がつくように意識して授業を創造し、年間 1 人 1 回以上研究授業を行う。</p>	
<p>取組内容② 【基本的な方向 5、健やかな体の育成】</p> <p>運動に親しみ、体力をつける。 ()</p>	
<p>指標 学習カードやデジタル教材などを効果的に使って、体育の授業を工夫する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
後期への改善点

(様式 2)

大阪市立長吉東小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>【ICT の活用に関する目標】</p> <p>○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50% 以上にする。（事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く）</p> <p>【教職員の働き方改革に関する目標】</p> <p>○年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 95% 以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 6、教育 DX の推進】</p> <p>児童の学習者用端末の活用を推進する。 ()</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修を年 3 回以上行い、教員の ICT 活用能力を向上する。 ・週に 3 回以上、学習者用端末を活用する。 	
<p>取組内容② 【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>働き方改革を推進することで、人間性や想像力を高め、児童に対して効果的な教育活動を行うことができるようとする。 ()</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日を週に 1 回実施する。 ・教員一人当たりの、一か月平均時間外勤務時間（累計）を校種別平均と比較する。 2 月末の時点で大阪市の平均より、少なくなるようにする。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
後期への改善点

令和 7 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 長吉東小 学校協議会

1 総括についての評価

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

安全・安心な教育の推進 年度目標 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いませんか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。

未来を切り拓く学力・体力の向上 年度目標 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な回答児童の割合を 35%以上にする。小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 78%以上にする。

学びを支える教育環境の充実 年度目標 授業日において児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の 50%以上にする。年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 95%以上にする。

3 今後の学校園の運営についての意見